

# いんぎん 歳時記

## 〔新刊紹介〕

### ◆本匠村の古文書

因尾村文書（高野大庄屋）

本匠村教育委員会編

## 〔上巻〕

- 一、宝暦十一年 巳年御用向覚帳
- 一、明和五年 子歳御用覚帳
- 一、明和九年 辰年御用向控帳
- 一、天明六年 午歳御用向控帳

## 〔下巻〕

- 一、文政十三年 寅年御用向控帳
  - 一、安政七年 申歳御用向控帳
- B5版 上下四二二ページ  
頒布価格 各千円

続いて「河野家文書（中野村組大庄屋）」  
上下巻を予定しています。

### ◆佐伯鉾山始末

元帝国鉾業KK社員・出納勉著

戦前戦中にかけて佐伯地方には水銀鉾山が在った。この資料は旧帝国鉾業が進出してから、昭和二〇年十一月に閉鎖撤退するまでの経緯について詳しく説明したもので、佐伯地方の鉾山史としても極めて貴重な資料といえる。

A5版 一九九ページ

発行者 五十川千代見

編集ワープロ 林寅喜

### ◆豊後賛歌

佐伯合同短歌会の五十年

真柴茂彦編

## 〔目次〕

- ・ 佐伯短歌史（佐伯合同短歌会以前）
- ・ 佐伯合同短歌会時代
- ・ 年間歌集 一年刊から五〇年刊・五〇周年記念号投稿歌・記念号に寄せて
- ・ 氏名索引・編集後記・会員名簿
- ・ 付表 年間歌集一覧・歴代役員

三七五ページ 布表装・ケース入り、搭載人数一六七〇余名・歌三四〇〇首余

分価三〇〇〇円、送料三四〇〇円

計三三四〇円

佐伯市城南町三十四 岩城妙子方

（☎〇九七二一三三三八二二）

## 〔表紙写真解説〕

潮谷寺本尊・阿弥陀如来立像

写真撮影 会員 山下耕一郎

「佐伯市史」には、潮谷寺の本尊阿弥陀仏は仏師定朝の作と伝う。俗に古仏といわれ渡来の伝説がある。前立ちの阿弥陀仏は六代藩主高慶が納めたもの・とある。

昨年の大分県立博物館「特別展」では、本尊は鎌倉時代に流行した来迎相の阿弥陀如来立像であり、十三世紀中頃の造立とみられる。なお、前立て阿弥陀如来立像は、これも安阿弥様の形式を踏んだ十三〜十四世紀頃の作ぶりをしていて、と解説されている。